

辺野古埋立てを 町長はどう考えるか

答 建白書は、今後も生きている



宮城 寛諄 議員

問 知事の辺野古埋立て承認について、町長の考えはどうか。また、2013年1月に行われた建白書行動の継続・発展を目指す「オール沖縄」の再構築をすべきと思うかどうか。考えるか。

町長 普天間基地の県内移設と新たな基地建設を認めないというのが沖縄県民の世論だと思うし、私もそう考える。建白書は、今後も生きているとの思いで県民と一緒に進めていきたい。

住宅リフォームの 拡充を

問 住宅リフォーム助成制度がスタートして2年目になるが実績はどうか。事業をどう評価するか。

副町長 昨年度より事業の周知が町民に広がり、実績も伸びている。施業者も制度を活用した営業が見られる。そうした状況から、助成制度の目的である地元経済の活性化につながる制度だと考えている。

問 補助対象の拡大で外構工事も含めてはどうか。予算額も拡大して制度の充実を図れないか。

副町長 屋根防水工事や住宅内部の改装などの需要が多い。今後も現状の制度で進めていく。予算は公募状況と予算額がほぼ一致しているので、今後も実施計画の予算内で進めていく。

電子黒板の活用は

問 電子黒板は「さらなる活用を目指し、調査研究に努められたい」と監査委員から指摘されているが、どうですか。平成21年度から電子黒板が導入されたが、効果は検証しているか。



電子黒板を活用した授業

教育長 当初、電子黒板は全学級に配置されていなかった。そのため、限られた時間と場所では多くの授業に活用できず、監査委員の指摘になったものと思われる。また、効果の検証は行っていないが、教職員から状況を確認している。

こんな質問もしました

・ 小中学校に
冷水器配置を